

2018年度 第1四半期(2018年4月～6月)決算

(第1四半期決算補足説明資料)

2018年8月7日
株式会社キッツ

執行役員 経営企画本部長 栗原 等

【注意事項】

本資料に記載されている当社及び連結子会社の計画、戦略及び業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。

目次

1 2018年度第1四半期決算の概要

2 2018年度2Q(7~9月)経営計画

3 最近のトピックス

1 2018年度第1四半期決算の概要

2 2018年度2Q(7～9月)経営計画

3 最近のトピックス

2018年度第1四半期 業績

単位(百万円)

	2017年度 1Q実績	2018年度 1Q計画	2018年度 1Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	29,302	32,621	32,752	3,450	11.8%	131	0.4%
内、バルブ事業	23,003	25,940	25,775	2,772	12.1%	▲164	▲0.6%
内、伸銅品事業	5,644	5,981	6,290	645	11.4%	309	5.2%
営業利益 (率)	1,937 (6.6%)	2,606 (8.0%)	2,647 (8.1%)	710	36.7%	41	1.6%
内、バルブ事業	2,646	3,247	3,443	796	30.1%	196	6.0%
内、伸銅品事業	162	167	127	▲34	▲21.1%	▲39	▲23.4%
経常利益	1,876	2,583	2,530	654	34.9%	▲52	▲2.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,017	1,672	1,712	695	68.4%	40	2.4%
ドル:対円	112.82	109.0	107.50				
ユーロ:対円	120.13	132.0	132.33				
電気銅建値:円/トン	671,000	800,000	796,000				

注) 売上高及び営業利益は、バルブ事業と伸銅品事業のみを表示しておりますが、合計はその他を含む連結合計であるため、一致していません。

バルブ事業の業績 国内売上高(市場別)

前年同期比15億17百万円(9.9%)増の167億86百万円。建築設備向けが堅調に推移し増加。水市場向けは自治体の予算消化が低調で売上高は前期を下回る。半導体製造装置向けは装置メーカーの需要が依然として強く増収。工業用バルブ市場については、定修案件の他、既設プラントの保守・更新を中心とした需要により増収。5月に実施した価格改定も寄与。

単位(億円)

	2017年度 1Q	2Q	3Q	4Q	2018年度 1Q	対前年	
						増減額	増減率
国内 合計	152	154	167	167	168	15	10%
建築設備	68	66	69	70	73	5	7%
水関連	16	21	23	20	15	▲1	▲6%
半導体関連	17	19	21	23	23	6	35%
機械装置関連	50	49	52	54	18	7	14%
石油精製・石油化学					17		
一般化学					7		
食品・製紙					6		
ガス・電力					6		
大型プロジェクト物件					3		

注) 1 各市場で採用されるバルブの材質、形状の変化やトレンドを考慮し、2018年度より各市場に集計する製品群の一部を見直ししています。
そのため、2017年度の「機械装置関連」から「大型プロジェクト物件」までの各市場向けの売上高については、合計額で表示しております。

注) 2 億円単位で表示しているため、累計・合計が一致しない場合があります。

バルブ事業 海外売上高(エリア別)

前年同期比12億54百万円(16.2%)増の89億89百万円。韓国・中国の半導体製造装置向けは好調を継続。イランの大型プロジェクトBid Bolandへの納入が始まり、中東向けも増加。中国向けは前年並みとなったものの、アジア計では7億円の増収。米州は前期で底を打ち、売上は回復傾向。欧州・その他は、設備投資の低迷が継続するも1億円の増収を確保。

※海外売上高のうち、為替による減少額(前年同期比) : 55百万円

単位(億円)

	2017年度 1Q	2Q	3Q	4Q	2018年度 1Q	対前年	
						増減額	増減率
海外 合計	77	85	85	92	90	13	16%
アセアン・韓国他	29	35	30	37	33	4	14%
(内、半導体向け)	(6)	(7)	(5)	(5)	(9)	(3)	50%
中国	15	15	17	18	15	—	—
(内、半導体向け)	(5)	(4)	(5)	(5)	(6)	(1)	20%
中東	2	5	2	3	5	3	150%
アジア計	46	55	49	58	53	7	15%
米州(北米、中南米)	23	23	27	25	28	5	22%
欧州・その他	8	6	8	9	9	1	13%

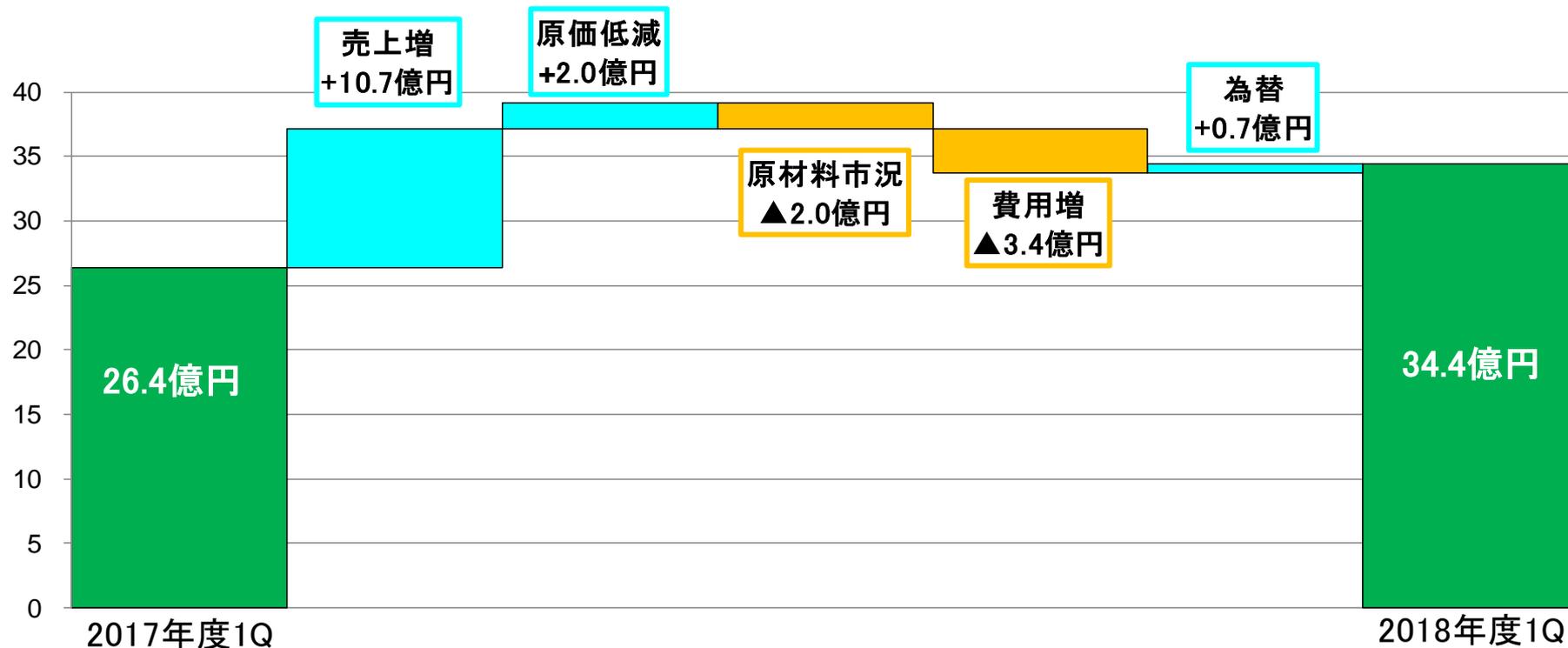
注) 億円単位で表示しているため、累計・合計が一致しない場合があります。

バルブ事業 営業利益増減要因

単位(百万円)

	2017年度 1Q実績	2018年度 1Q計画	2018年度 1Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	23,003	25,940	25,775	2,772	12.1%	▲164	▲0.6%
営業利益	2,646	3,247	3,443	796	30.1%	196	6.0%

億円



伸銅品事業の概要

■売上高について

売価に影響を与える原材料相場の上昇に伴い販売価格は上昇。販売量は若干減少はあったものの、売上高は、前年同期比11.4%増の62億90百万円。

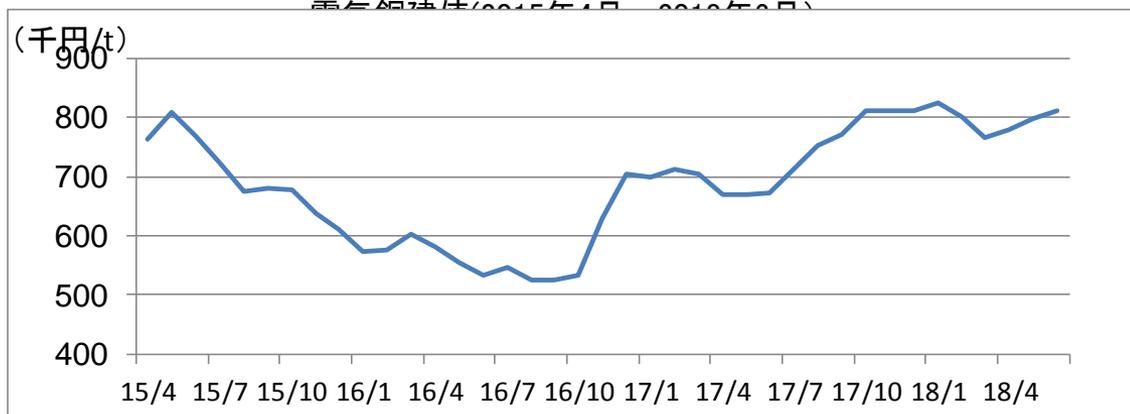
■営業利益について

期初における原材料相場変動の影響もあり、営業利益は前年同期比34百万円(21.1%)減の1億27百万円。

単位(百万円)

	2017年度 1Q実績	2018年度 1Q計画	2018年度 1Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	5,644	5,981	6,290	645	11.4%	309	5.2%
営業利益	162	167	127	▲34	▲21.1%	▲39	▲23.4%
電気銅建値:円/トン	671,000	800,000	796,000				

電気銅建値(2015年4月～2018年3月)



黄銅棒とその加工品

その他の概要

外部売上高は、ホテル事業が大部分を占める。当第1四半期は団体宿泊客が増加。季節変動要因により、第2四半期が繁忙期となる。

■売上高について

売上高は前年同期比32百万円(5.0%)増の6億86百万円。

■営業利益について

18百万円の営業損失となった(前年同期比で24百万円の改善)。

単位(百万円)

	2017年度 1Q実績	2018年度 1Q計画	2018年度 1Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	653	700	686	32	5.0%	▲13	▲2.0%
営業利益	▲42	▲23	▲18	24	—%	4	—%



長野県諏訪市のホテル紅や

連結営業外・特別損益の状況

単位(百万円)

	2017年度 1Q実績	2018年度 1Q実績	増減額	主な内訳
営業利益	1,937	2,647	710	
■営業外収益	170	197	27	
■営業外費用	231	314	83	為替差損:109(前年同期は46)
経常利益	1,876	2,530	654	
■特別利益	1	1	▲0	
■特別損失	45	56	10	
税金等調整前当期純利益	1,831	2,475	643	
法人税等	800	750	▲50	
当期純利益	1,031	1,724	693	
非支配株主に帰属する当期純利益	14	11	▲2	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,017	1,712	695	

バランスシートの状況

- 総資産:1,343億53百万円 (18/3末比 8億7百万円増加)
- 流動資産:現金及び預金の減少 ▲70億83百万円 たな卸資産の増加 18億75百万円
- 固定資産:有形固定資産の増加 13億40百万円 無形固定資産の増加 30億74百万円
- 流動負債:短期借入金 of 増加 24億91百万円 未払法人税等の減少 ▲17億2百万円
- 有利子負債残高は、368億円80百万円、自己資本比率56.5%(18/3末:57.1%)

単位(百万円)

資産の部	2018年 3月末	2018年 6月末	増減額	負債の部	2018年 3月末	2018年 6月末	増減額
流動資産	77,400	73,839	▲3,560	流動負債	24,078	24,784	706
固定資産	56,145	60,513	4,368	固定負債	32,075	32,560	484
有形固定資産	36,799	38,140	1,340	負債合計	56,154	57,345	1,190
無形固定資産	8,951	12,026	3,074				
投資等	10,394	10,347	▲46	純資産合計	77,391	77,007	▲383
資産合計	133,545	134,353	807	負債・純資産 合計	133,545	134,353	807

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を今期より適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産に、繰延税金負債は固定負債に表示しています。

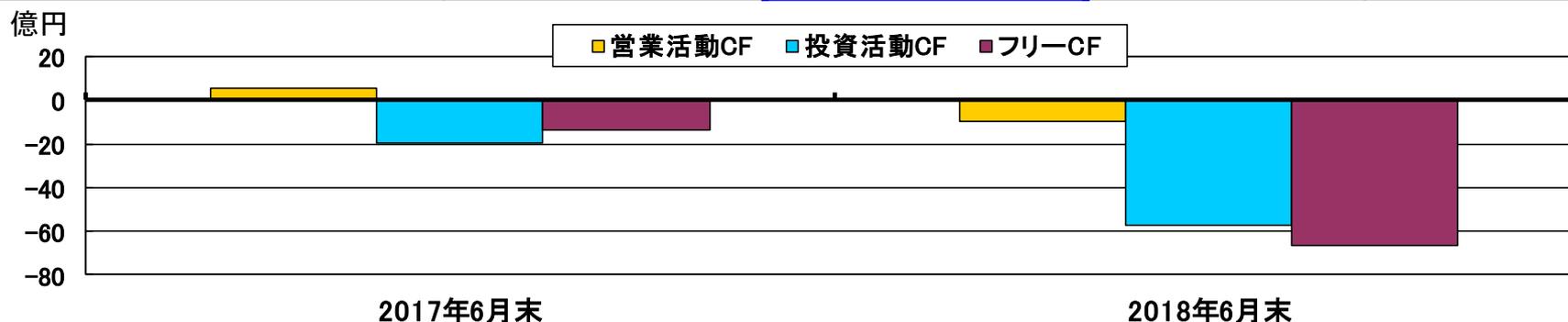
2018年3月末の表示についても新たな表示方法に従って組み替えています。

キャッシュ・フローの状況

- 営業活動CF: 税金等調整前四半期純利益24億75百万円、減価償却費10億60百万円。たな卸資産の増加17億94百万円、賞与引当金の減少10億23百万円、法人税等の納付23億62百万円等により、9億58百万円の資金の減少。
- 投資活動CF: 有形固定資産の取得16億64百万円、IT関連など無形固定資産の取得10億35百万円、子会社株式の取得29億85百万円等により、57億9百万円の資金の減少。
- 財務活動CF: 配当金の支払9億76百万円、長期借入金の返済9億6百万円等により、23億11百万円の資金の減少。

単位(百万円)

	2017年 6月末	2018年 6月末	増減額	増減率
営業活動CF	567	▲958	▲1,526	—
投資活動CF	▲1,935	▲5,709	▲3,773	—
フリー CF	▲1,367	▲6,668	▲5,300	—
財務活動CF	▲1,952	▲2,311	▲358	—
現金等期末残高	13,307	12,903	▲404	▲3.0%



2018年度第1四半期の主な経営指標

単位(百万円)

	連結	
	2017年度1Q 実績	2018年度1Q 実績
売上高	29,302	32,752
営業利益	1,937	2,647
経常利益	1,876	2,530
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,017	1,712
海外売上高比率	27.3%	28.0%
有利子負債	23,588	36,880
自己資本比率	62.5%	56.5%
BPS	730.27円	779.50円

1 2018年度第1四半期決算の概要

2 2018年度2Q(7~9月)経営計画

3 最近のトピックス

2018年度 2Q(7~9月)計画

単位(百万円)

	2Q累計		1Q		③(①-②) 18/2Q累計計画と 18/1Q実績の差
	2017年度 実績	① 2018年度 計画	2017年度 実績	② 2018年度 実績	
売上高	59,592	66,000	29,302	32,752	33,247
営業利益 (率)	4,314 (7.2%)	5,500 (8.3%)	1,937 (6.6%)	2,647 (8.1%)	2,852
経常利益 (率)	4,057 (6.8%)	5,400 (8.2%)	1,876 (6.4%)	2,530 (7.7%)	2,869
親会社株主に帰属する 当期純利益 (率)	2,641 (4.4%)	3,500 (5.3%)	1,017 (3.5%)	1,712 (5.2%)	1,787
ドル:対円	112.12	109.0	112.82	107.50	
ユーロ:対円	122.18	132.0	120.13	132.33	
電気銅建値:円/トン	709,000	800,000	671,000	796,000	

セグメント別 2018年度 2Q(7~9月)計画

単位(百万円)

売上高	2Q累計		1Q		③(①-②) 18/2Q累計計画と 18/1Q実績の差
	2017年度 実績	① 2018年度 計画	2017年度 実績	② 2018年度 実績	
バルブ事業	46,951	52,600	23,003	25,775	26,824
伸銅品事業	11,046	11,700	5,644	6,290	5,409
その他	1,594	1,700	653	686	1,013
計	59,592	66,000	29,302	32,752	33,247

営業利益	2Q累計		1Q		③(①-②) 18/2Q累計計画と 18/1Q実績の差
	2017年度 実績	① 2018年度 計画	2017年度 実績	② 2018年度 実績	
バルブ事業	5,606	6,700	2,646	3,443	3,256
伸銅品事業	342	330	162	127	202
その他	56	80	▲42	▲18	98
調整額	▲1,690	▲1,610	▲828	▲905	▲704
計	4,314	5,500	1,937	2,647	2,852

2018年度計画の主な経営指標

単位(百万円)

	連結	
	2017年度 実績	2018年度 計画
売上高	124,566	132,000
営業利益	10,117	11,200
経常利益	9,733	10,900
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,518	7,100
海外売上高比率	27.9%	29.8%
有利子負債	34,302	30,675
ROE	8.7%	9.1%
自己資本比率	56.8%	58.8%
BPS	782.98円	832.00円
EPS	65.50円	73.63円

1 2018年度第1四半期決算の概要

2 2018年度2Q(7～9月)経営計画

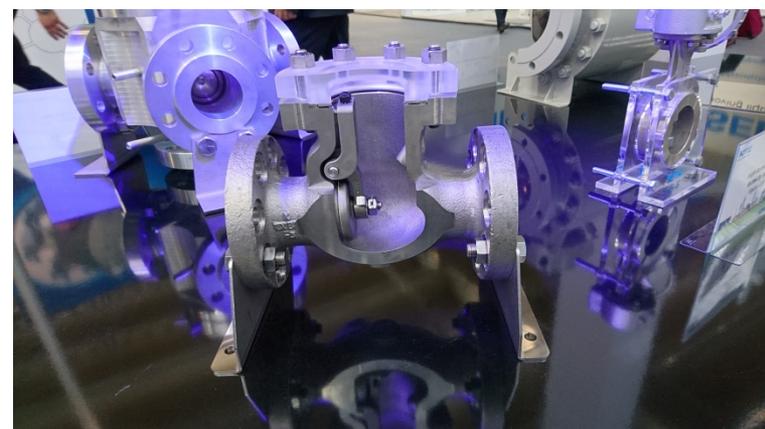
3 最近のトピックス

「ACHEMA 2018」に出展

2018年6月、3年に1度開催される世界最大のケミカル分野の総合展示会「ACHEMA(アヘマ:国際化学・環境保護・バイオテクノロジー展)2018」に出展。会場となった「メッセフランクフルト」には、欧州を中心に、世界各国から約14万人が来場。

■キッツグループの新製品を中心にPR

キッツは、欧州のグループ会社(3社)と共同で出展。ブースには、Perrin GmbH(ドイツ)にて開発・販売準備中の「超低温トップエントリーボールバルブ」の他、グループ各社の製品を「Oil&Gas、化学、石油精製・石油化学、クリーンエネルギー、汎用」の5つの分野に分けて展示し、多彩な製品群とグループシナジーをPR。



自己株式の取得

資本効率の向上、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の実施、株主への一層の利益還元を目的に、自己株式の取得を発表。

第3期中期経営計画の基本方針に従い、株主還元の充実として、現金配当による目標連結配当性向25%に加え、自己株式の取得にも積極的に取り組む。

2018年7月30日開催の取締役会における決議内容

取得対象株式の種類	普通株式
取得し得る株式の総数	2,000,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 2.05%)
株式の取得価額の総額	2,000百万円(上限)
取得期間	2018年8月6日から2018年12月20日まで

ご清聴ありがとうございました。